

令和8年3月20日

保護者各位

佐倉市立山王小学校
校長 田中 雅明

学校アンケートの結果のお知らせ

日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。
さて、1月にご協力をお願いしましたアンケートにつきまして、保護者の皆様方からたくさんのご意見をいただき、誠にありがとうございました。
結果につきまして、下記の通りまとめさせていただきました。皆様方からいただきましたご意見を今後の学校経営に活かしていきたいと考えております。

【保護者による学校評価の結果】

1 保護者による学校評価

実施日 令和8年1月 回答保護者数 113名

2 アンケート結果から

保護者アンケートは、全19項目で実施しました。そのうち肯定率が85%以上の項目は8つあり、順にあげると次のとおりでした。

N019	学校は、福祉学習に積極的に取り組んでいるが、お子さんは他を認める力がついてきたと感じる。	96%
N03	お子さんは、思いやりのある優しい心が育っている。	93%
N015	学校は、生活安全面で適切な指導や対策を行っている。	92%
N012	学校は、「いじめ」のない楽しい学級づくりに努めている。	91%
N013	学校は、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援（特別支援教育）を大切にしている。	89%
N017	学校は、保護者等との連絡手段のデジタル化を図っている。	89%
N011	学校は、お子さんが困った時の相談に、適切に応じている。	88%
N02	お子さんは、毎日楽しそうに学校に通っている。	85%

※今年度、本校の研究として取り組んだ福祉学習の成果が大きく実りました。(N019)

昨年度よりが上昇した項目が7つありました。その中でも3つの項目が大きく伸びました。

N05	お子さんは、ねばり強い心が育ってきている。	+11
N04	お子さんは、進んで学習するようになってきている。	+9
N07	お子さんは、読書の習慣が身につき、よく取り組んでいる。	+8

※この3つはポイントを大きく伸ばしましたが、肯定率70%を下回っています。

一方で、肯定率が70%以下の項目は6つでした。

N07	お子さんは、読書の習慣が身につき、よく取り組んでいる。	35%
N06	お子さんは、家庭学習の習慣が身につき、よく取り組んでいる。	58%
N018	学校は、子どもたちに立腰を意識づけているが、授業などにおけるお子さんの姿勢は良くなってきている。	60%
N04	お子さんは、進んで学習するようになってきている。	62%
N05	お子さんは、ねばり強い心が育ってきている。	66%
N08	お子さんは授業が楽しくわかりやすいと言っている	70%

3 分析

今年度は19項目の設問を設けました。自身のお子さんに対する見方については厳しい意見もありますが、学校が児童に行っている教育に対しての質問については、全設問において肯定的な回答がされており、本校の教育活動がおおむね指示されているものと受け止めています。

全質問の中で肯定的回答が85%以上であった項目は8項目あり、さらに90%以上であった項目は、「③お子さんは思いやりのある優しい心が育っている」「⑫学校は「いじめ」のない楽しい学級づくりに努めている」「⑮学校は生活安全面で適切な指導や対策を行っている」「⑲学校は福祉学習に積極的に取り組んでいるが、お子さんは他を認める力がついてきたと感じる」の4項目でした。これらは、学校教育目標の具現化を目指し、本校職員が一人ひとりの子どもへの丁寧な関わりを見せた成果であると考えます。また、昨年心のバリアフリー教育の成果を継承し、今年度本校の研究課題とした「福祉学習」において、山王地域にある社会福祉法人「愛光」との交流学习の成果が子どもたちに浸透し、豊かな心の育成につながったと考えます。

肯定的な回答が70%を下回った設問は、「④お子さんは進んで学習するようになってきている」「⑤お子さんはねばり強い心が育ってきている」「⑥お子さんは家庭学習の習慣が身につく、よく取り組んでいる」「⑦お子さんは読書の習慣が身につく、よく取り組んでいる」「⑧ お子さんは授業が楽しくわかりやすいと言っている」「⑱学校は子どもたちに立腰を意識づけているが、授業などにおけるお子さんの姿勢は良くなってきている」の6項目でした。これらの学習面については、児童が視覚的に理解しやすい授業の実施やICTの活用、千葉県学習サポーターおよび学生サポートティーチャーなどの活用を行い、一人ひとりに個別最適な学びを届けていますが、今一歩伸び悩んでいるところです。しかし、どの項目も昨年度よりはポイントが向上しているので、分かりやすく、意欲を高めるために工夫された学習指導をいっそう心がけ、授業改善に取り組んでいきたいと思えます。また、家庭と連携した学習計画や進捗確認、学習環境の整備等を行い、家庭学習の定着を図り、学びの効率化をさらに進めていこうと考えます。

ここ数年で回復してきた家庭や地域との連携については、「⑭学校は運動会や校外学習などの学校行事を充実させている」「⑯学校は保護者や地域の人に学校の様子を知らせている」「⑰学校は保護者等との連絡手段のデジタル化を図っている」など、どれも80%以上の肯定的な回答を得ることができました。近年のスピード化を重視し、包み隠さず情報提供をしてきた成果の表れだと感じますので、今後もデジタル化を推し進め、スピード感ある学校経営に努めていこうと考えます。

今回いただいたご意見に関しては、さらに分析を進め、現在に甘んじることなく学校全体のより一層の改善へと向けていきます。

4 学校評議員アンケート、会議より考察

学校評議員の方たちには、年間3回の会議とアンケートを実施していただきました。その中で、たくさんの方の肯定的なご意見をいただきました。

今年度は15項目の設問を設けました。全ての設問において「そう思う」「ややそう思う」の肯定的な回答を得ることができました。全項目で肯定的な評価をいただけたことは、学校が示す経営案が地域の方や保護者にしっかり浸透してきているものととらえることができ、大変励みとなりました。

特に「①子どもたちは学校生活を楽しんでいる」「⑩教職員は、情熱をもって子どもたちの指導・支援にあたっている」「⑬学校は、いじめや児童間トラブルに迅速に対応している」の項目については100%の支持を受ける高い理解を得ることができました。この3点は昨年度より向上した状況であり、職員の児童個々に対する思いや行動が実ったものと感じています。

しかし、「⑦子どもたちは交通マナーを守り、安全に注意して登下校している」については、昨年度より数値の向上があったものの、未だ課題が残ると考えています。学校管理下において、安全については最も重要な要素の1つだと考えていますが、その点に対してご指摘をいただいておりますので、登下校はもちろんのこと、校内での生活についても安全な生活を営むよう指導を徹底していきたいと思えます。

また、「②立腰を意識づけているが、授業における子どもたちの姿勢はいいと思う」の項目は、肯定的なご意見はいただけたものの、改善の余地があるものと思っています。基本的な生活習慣の確立により、安定した学校生活や学習状況が得られると考えますので、この点についてもさらに向上を目指して取り組む所存です。

【学校評議員会議より（授業参観を終えて）】

- ・非常に落ち着いた様子がかがえた。
- ・毎回思うが、校内がとてもきれいで環境が整備されていると感じる。
- ・自分を表現している授業が多くとても良いと思う。
- ・一斉型ではなく、対話型や発表形式の授業が多く良い。
- ・先生方の個性が発揮されている。
- ・先生方の目線の高さが良いと感じた。
- ・職員の熱意を感じる。
- ・子どもたちと職員のコミュニケーションがとれていることは高く評価する。
- ・1年の指導の証を拝見した参観となった。
- ・道徳の指導については、さらに研修をして高めていただきたい。
- ・ICTを活用した授業が今回もあったが、タブレットのみならず、黒板をしっかり使った授業を続けていただきたい。
- ・情報モラルの大切さを理解する姿勢が見られたが、情報検索やコンテンツの利用などフィルターバブルやエコーチェンバーの学びなどもう一步踏み込んだ指導に期待したい。